

令和4年度全国学力・学習状況調査結果の概要と対策について

初秋の候、保護者の皆様には益々のご健勝のこととお喜び申し上げます。

さて、本年度の全国学力・学習状況調査は4月19日に3年生を対象に国語・数学・理科の3教科で実施されました。先日その結果が届きましたので、本校の調査結果の概要と今後の対策等についてお知らせいたします。

なお、全国学力・学習状況調査は、以下の目的により行われ、学力の一面をはかるものであり、この結果が学力の全てを表すものではないことをご理解願います。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 学力調査の結果（概要）

国語：全体的には、全国・熊本県の平均を上回っている。
数学：全国の平均を下回っているが、熊本県の平均は上回っている。
理科：すべての領域において全国・熊本県の平均を上回っている。

3 学習状況調査の結果（概要）

本調査は、アンケート形式で、学習の様子や生活面等について質問したものです。全国平均と比べて、特徴的な傾向がつかめる項目のみを紹介します。

＜望ましい傾向＞

* 全国平均を5%以上上回る

- 地域の行事に参加している。地域や社会をよくするために何をするべきか考えることがある。
- 学校の授業で、自分で調べたり、意見交換したり、発表したりする場面でICT機器を活用している。
- 1, 2年生のときに受けた授業は、課題解決に向けて学んだことを生かし、自分の考えをまとめる活動ができている。
- 総合的な学習の時間では、自分で課題を立て情報を集めて整理し、調べたことを発表するなどの活動に取り組んでる。

＜改善したい傾向＞

* 全国平均を5%以上下回る

- ▲携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている。
- ▲学校の授業以外で平日に2時間以上、勉強をしている。（学習塾含む）
- ▲地域の大人に、授業や放課後など勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んでもらったりすることがある。

4 全国学力・学習状況調査結果を受けての今後の取組について

学力調査の結果を見ると、3教科とも概ね良好な結果を得ることができました。数学に関しては、全国平均を下回ったものの、「数学の授業の内容はよく分かる」「解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考える」と答えた生徒の割合が高く、できるようになりたいという思いも強く、今後の家庭学習と関連させて、さらなる向上につなげたいと思います。

本調査結果から、課題や改善点を把握し、指導法等を見直しながら、授業改善に努めてまいります。さらに10月に行われる熊本県共通テストに向けて、3年生一人一人の希望する進路の実現に向けて努力していきたいと考えます。

学習状況調査の結果からは、地域や社会のことを思う気持ちの優しさやICT機器を自分たちで活用しながら課題解決に向けて取り組む姿勢などは、起業体験活動を積み上げた成果だと感じます。しかしながら、家庭でのICT機器の使い方や学習時間が短いことなどの課題も見えてきました。

今後は、各ご家庭の協力を得ながら、受験生としての自覚を持たせ、家庭学習の充実を図るとともに、夢・実現に向けてお互いに磨きあえる仲間づくりができるよう取り組んでまいります。

これからも保護者の皆様方のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。